

殺菌剤

ベルコート®水和剤

イミノクタジナルベシル酸塩…………… 40.0%

種類名／イミノクタジナルベシル酸塩水和剤
農林水産省登録／第18821号（日本曹達登録）
毒性／普通物*
有効年限／5年
包装／100g×100、500g×20

特 長

- 幅広い殺菌スペクトラムを有し、多くの病害に対して優れた予防効果を発揮します。
- 作物に対する安全性が高く、登録作物が多いため使いやすい薬剤です。
- 細胞膜に作用し、膜機能や脂質生成を阻害します。また、他剤と作用点が異なるため各種の薬剤耐性菌に対しても高い効果があります。

適用病害と使用法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	適用病害名	希釈倍数	10a当り 使用用量	使用時期	総使用回数*	使用方法
りんご	黒星病 斑点落葉病	1000～ 2000倍	200～700ℓ	収穫前日 まで	本剤 6回 〔但し、開花期以降 散布は3回〕 イミノクタジン剤 8回 〔液剤及び水和剤は 合計6回（開花期 以降は3回）、塗布 剤は2回〕	散布
	輪紋病 褐斑病 すす点病 すす斑病 黒点病 うどんこ病	1000～ 1500倍				
	モニリア病 黄腐病	1000倍				
なし	黒斑病 黒星病 輪紋病 うどんこ病	1000～ 1500倍		収穫14日前 まで	本剤 5回 イミノクタジン剤 5回 〔塗布剤は2回、 液剤は1回〕	
もも	灰星病 ホモブシス腐 敗病 うどんこ病 すすかび病 果実赤点病	1000～ 2000倍		収穫前日 まで	本剤 3回 イミノクタジン剤 3回 〔休眠期は1回〕	
	黒星病	2000倍				
おうとう	灰星病	1000倍		収穫7日前 まで	本剤 3回 イミノクタジン剤 3回	
みかん	灰色かび病 そうか病	1000～ 2000倍		収穫前日 まで		
かんきつ (みかんを除く)	貯蔵病害 (緑かび病) (青かび病)	2000倍			本剤 2回 イミノクタジン剤 2回	
かき	炭そ病 落葉病 うどんこ病 灰色かび病 すす点病 黒星病	1000～ 1500倍		収穫14日前 まで	本剤 3回 イミノクタジン剤 3回	
キウイフルーツ	果実軟腐病 灰色かび病 貯蔵病害 (灰色かび病)	1000倍		収穫前日 まで	本剤 5回 イミノクタジン剤 5回	

(つづく)

作物名	適用病害名	希釈倍数	10a当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法
小粒核果類 (うめ、すもも を除く)	黒星病 灰星病 灰色かび病 環紋葉枯病 すす斑病	2000倍	200～700ℓ	収穫30日前 まで	本剤 3回 イミノクタジン剤 3回	散布
うめ	黒星病 灰星病 灰色かび病 環紋葉枯病 すす斑病 枝枯病					
びわ	灰斑病 灰色かび病	1000倍	4ℓ	収穫7日前 まで		
		10倍				
すもも	灰星病	1000～ 2000倍	200～700ℓ	収穫3日前 まで	本剤 2回 イミノクタジン剤 2回	散布
マンゴー	炭そ病	1000倍		収穫14日前 まで		
あけび (果実)	うどんこ病	3000倍				
すいか	炭そ病 うどんこ病 つる枯病 菌核病	1000倍	100～300ℓ	収穫前日 まで	本剤 4回 イミノクタジン剤 4回	
					本剤 5回 イミノクタジン剤 5回	
メロン	つる枯病 うどんこ病			収穫7日前 まで	本剤 4回 イミノクタジン剤 4回	
かぼちゃ	うどんこ病	1000～ 2000倍				
ズッキーニ		2000倍	100～300ℓ	収穫前日 まで	本剤 7回 イミノクタジン剤 7回	
きゅうり	うどんこ病 灰色かび病 炭そ病	2000～ 4000倍				
		褐斑病		2000倍		
うり類 (漬物用)	うどんこ病 つる枯病 炭そ病	2000～ 4000倍			収穫3日前 まで	本剤 5回 イミノクタジン剤 5回
なす	灰色かび病 すすかび病 うどんこ病	3000倍		収穫前日 まで	本剤 3回 イミノクタジン剤 3回	
アスパラガス	茎枯病 斑点病 褐斑病	1000倍	100～500ℓ	収穫7日前 まで	本剤 5回 イミノクタジン剤 5回	散布
ねぎ	葉枯病 さび病 黒斑病	2000倍	100～300ℓ	収穫30日前 まで	本剤 3回 イミノクタジン剤 3回	
たまねぎ	灰色かび病 灰色腐敗病 小菌核病	1000倍		収穫前日 まで	本剤 5回 イミノクタジン剤 5回	
にんにく	葉枯病	1000～ 1500倍			収穫3日前 まで	

(つづく)

作物名	適用病害名	希釈倍数	10a当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法
に ん じ ん	菌核病	1000倍	100～300ℓ	収穫14日前 まで	本剤 5回 イミノクタジン剤 5回 「種子粉衣は1回、無人 航空機散布は2回」	散布
	黒葉枯病	500～ 1000倍				
		—	乾燥種子 重量の0.5%	は種前	本剤 1回 イミノクタジン剤 5回 「種子粉衣は1回、無人 航空機散布は2回」	種子粉衣
ト マ ト	葉かび病	3000～ 6000倍	100～300ℓ	収穫前日 まで	本剤 3回 イミノクタジン剤 3回	散布
ミニトマト	灰色かび病	6000倍			本剤 2回 イミノクタジン剤 2回	
レ タ ス	灰色かび病 菌核病	1000～ 2000倍		収穫14日前 まで	本剤 3回 イミノクタジン剤 3回	
キ ャ ベ ツ	菌核病	1000倍				
い ち ご	炭そ病			育苗期 〔定植前〕 収穫前日まで 〔生育期〕	本剤 5回 イミノクタジン剤 10回 「育苗期は5回、 本圃では5回」	
	うどんこ病	4000倍				
豆 類 (種実、但し、 だいずを除く)	うどんこ病 炭そ病 褐斑病	1000倍		収穫7日前 まで	本剤 3回 イミノクタジン剤 3回	
ば れ い し ょ	夏疫病	500倍			本剤 5回 イミノクタジン剤 5回	
や ま の い も	葉渋病	1000～ 2000倍			本剤 5回 イミノクタジン剤 5回 「種いもへの処理は1回、 無人航空機散布は3回」	
	青かび病	—	種いも 重量の1%	植付前	本剤 1回 イミノクタジン剤 5回 「種いもへの処理は1回、 無人航空機散布は3回」	種いも 粉衣
茶	炭そ病 輪斑病 新梢枯死症 (輪斑病菌による)	1000倍	200～400ℓ	摘採7日前 まで	本剤 2回 イミノクタジン剤 2回	散布
た ば こ	赤星病 うどんこ病 灰色かび病	1000～ 2000倍	100～180ℓ	収穫10日前 まで		
樹 木 類	炭そ病	1000倍	200～700ℓ	発病初期	本剤 3回 イミノクタジン剤 3回	

使用にあたって

■使用上の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、速やかに使いきってください。
- 本剤はイミノクタジンを含む農薬であるので、他のイミノクタジンを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用してください。
- 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調節してください。
- 無人航空機散布に関する注意については「製品情報と注意事項」の見方、「空中散布、無人航空機（無人ヘリコプター等）散布・滴下に関する注意」をご参照ください。

- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合には、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■薬害

- りんごに使用する場合、芽出し2週間すぎから落花後25日頃まではさび果を生じるおそれがあるので、この時期の散布はさけてください。
- なしに使用する場合、西洋なし品種ルレクチエではさび果を生じるので使用しないでください。
- ももに使用する場合、缶桃14号等の缶詰用品種では葉に葉斑を生じるので使用しないでください。
- おうとうに使用する場合は、着色始期から中期の散布では薬害(着色障害)を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- かきに使用する場合、西村早生では葉に葉斑を生じるので、使用しないでください。
- メロンに使用する場合、交配2～3日前から交配2週間後までの幼果の時期には、薬害を生じるおそれがあるので、この時期の散布はさけてください。また、若葉への散布や高温時の散布では、薬害を生じることがあるので注意してください。
- キャベツに使用する場合、浸透性を高める効果のある一部の展着剤を混用すると薬害を生じる場合があるので、展着剤混用に当っては事前にその適否を確認してください。
- ばらに対して薬害を生じるので、かからないように注意して散布してください。

■毒



- 蚕に対して毒性があるので、桑にかからないように注意して散布してください。

■水産動植物への注意

- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

■安全使用上の注意

- 誤飲、誤食などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当てを受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当てを受けてください。
- 本剤は眼に対して強い刺激性があるので、眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。



- 使用の際は保護メガネ、農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをしてください。

- 街路、公園等を使用する場合は、散布中および散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

■貯蔵上の注意

- 密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に保管してください。